

労働者健康福祉機構の 政策医療・臨床研究・行政貢献

独立行政法人
労働者健康福祉機構

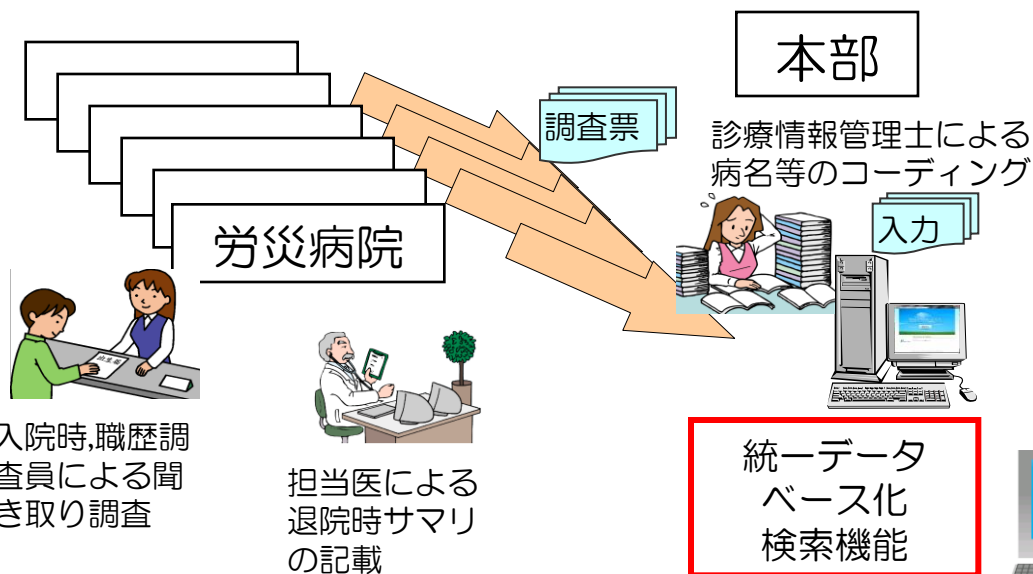
病職歴データベース

職業・産業分類による職業歴を登録した我が国最大のデータベースで傷病と職業歴の関連性を検証することができ、新興・再興種々の労災疾病についての疫学的検証を可能としている。

昭和59年, データ集積開始

- 病歴情報 5,235,650件
- 病職歴情報 2,790,968件
(~平成23年度件数)

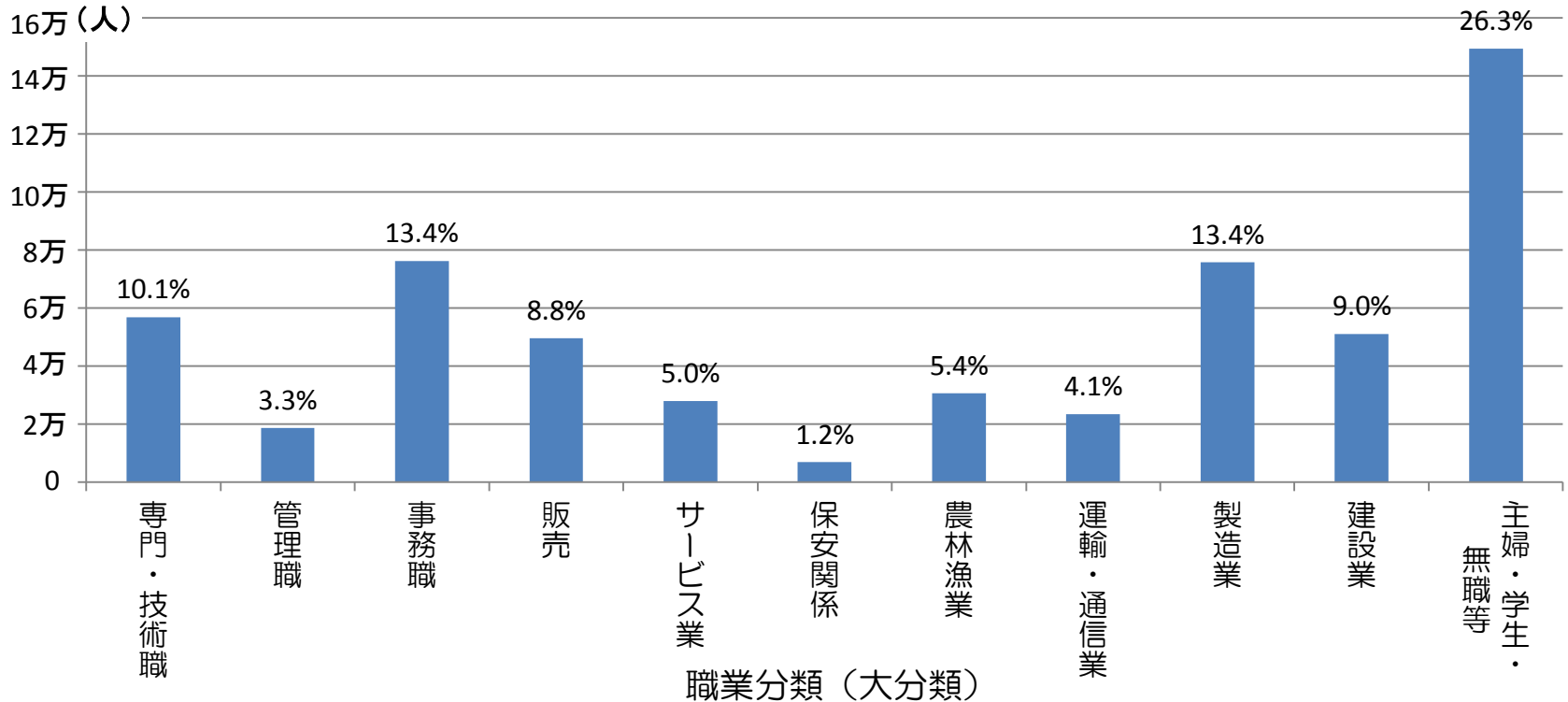
- アスベスト関連疾患
 - ・ 職業歴(過去の職業含む)による作業曝露の調査
 - ・ 初期曝露から発症までの期間の検証
- 職業性胆管がん
 - ・ 職業性集積に関する疫学的調査
 - ・ 他職種における集積に関する疫学的調査
 - ・ 他疾患集積に関する疫学的調査
- 復職支援
 - ・ 復職支援のための疫学調査資料



病職歴データベース上の職業別人数と構成割合

	専門・技術職	管理職	事務職	販売	サービス業	保安関係	農林漁業	運輸・通信業	製造業	建設業	主婦・学生・無職等	合計
人数	56,908	18,780	76,198	49,550	28,073	6,942	30,760	23,487	75,860	51,087	149,375	567,020
%	10.1%	3.3%	13.4%	8.8%	5.0%	1.2%	5.4%	4.1%	13.4%	9.0%	26.3%	100.0%

※職歴から最長勤務の職業を抽出した場合（2005年4月～2010年3月退院 約57万件のデータより）



アスベスト関連疾患への対応

じん肺診療に始まった呼吸器専門医集団を中心に、アスベスト関連疾患に対し、研究、成果の普及、行政への協力、国際協力まで、広く実践している。

早期診断・確定診断に関する研究

- 中皮腫早期診断システムの確立
- 中皮腫特異マーカーの研究
- 石綿肺がんの遺伝子変異検討

治療法の研究開発

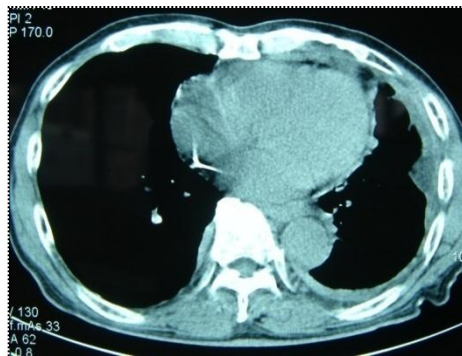
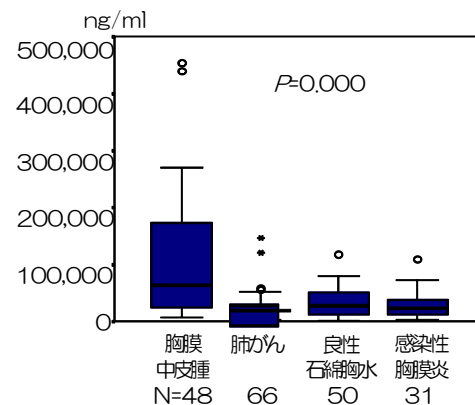
- 胸膜中皮腫に対する治療法開発
- 切除不能中皮腫等に対する化学療法の有用性検討

学会発表：国内242件,国外47件
(H16~23年度)

論文：和文113件,英文65件
(H16~23年度)

【中皮腫特異マーカーの確立】

早期胸膜中皮腫と良性石綿胸水鑑別するためにヒアルロン量をマーカーとしてデータを解析し、目安となる値を設定することができた。これにより、侵襲性の高い胸腔鏡検査の対象をできるだけ絞り込むことができるようになった。



【治療法の研究開発】

- 悪性胸膜中皮腫に対する胸腔内灌流温熱化学療法の安全性の検討
- 切除不能胸膜中皮腫に対する抗がん剤(葉酸代謝拮抗剤) Pemetrexed単剤による維持療法の有用性に関する検討

➤ アスベスト疾患センター

健診 69,905件
相談 44,260件 (25か所H17.9-23年度)
肺内石綿小体計測 1,962件 (10か所H18-23年度)

* 石綿健康被害者の救済へのご協力をお願い (独) 環境再生保全機構：
肺内石綿小体計測は技術的に難しく、位相差顕微鏡等を備え、熟達した技術者のいる専門施設で実施しなければならない。



アスベスト小体

肺内に長期間滞留した石綿繊維の一部で、過去の石綿ばく露の重要な指標。熟達した技術者が位相差顕微鏡で検査することによって特定できる。

➤ 石綿確定診断等事業

労災給付のために確定診断を実施

➤ 石綿関連疾患に関する事例等調査業務(環境省)

労災病院から症例を収集し

- ①びまん性胸膜肥厚の鑑別判定の在り方を報告
- ②新たな中皮腫診断補助検査基準の在り方を報告

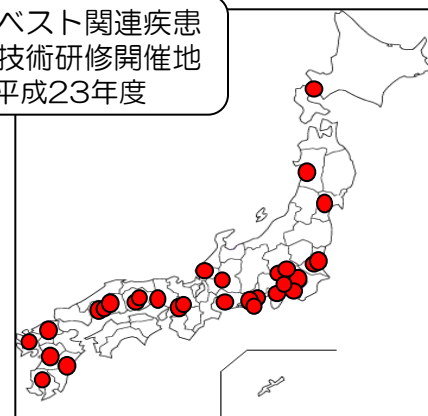
➤ 国が設置した検討会等への参画

- ・石綿健康リスク調査専門会議・中央環境審議会石綿健康被害判定部会
- ・中央じん肺診査医会・地方じん肺診査医会

➤ アスベスト関連疾患診断技術研修

産業保健推進センター等で141回開催
参加医師等5,405人 (H18~23年度)

アスベスト関連疾患
診断技術研修開催地
平成23年度



胸部画像読影実習



国際協力

- モンゴルでじん肺とアスベスト関連疾患の診断のための実践ワークショップを開催
- 日中政府間技術協力:中国職業衛生能力強化プロジェクトで中国人研修員を受け入れ

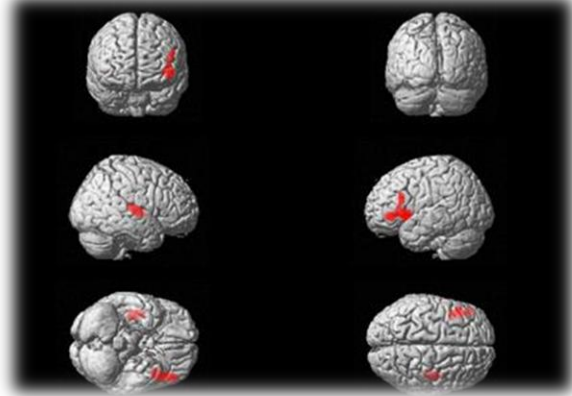
勤労者のメンタルヘルス対策

産業保健上最大の課題となっているメンタルヘルスについて、研究、予防に資する活動から職場復帰への取組まで幅広く実践している。

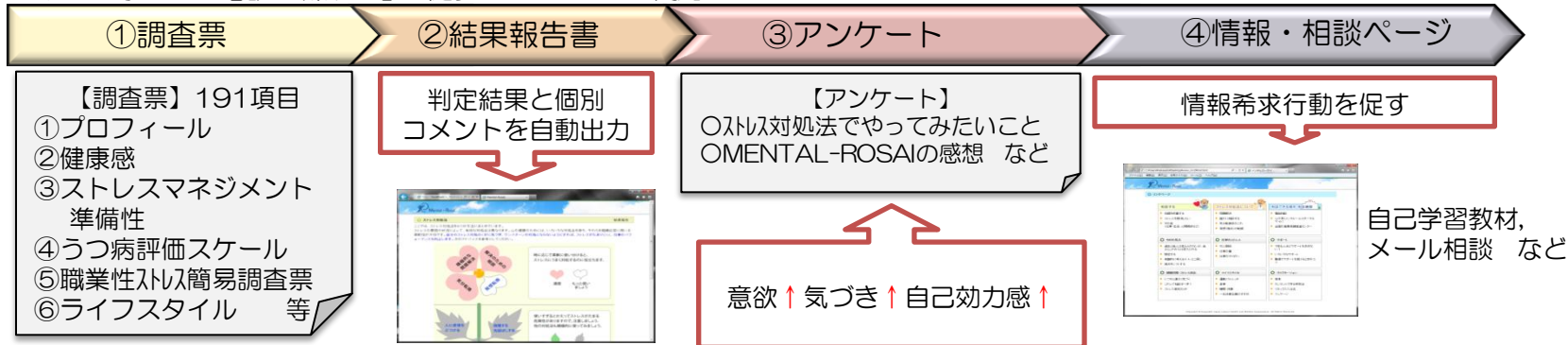
研究開発

- 勤労者の抑うつ、疲労の客観的指標に関する研究
 - インターネットを用いた勤労者のためのメンタルヘルスチェックシステム“MENTAL-ROSAI”に関する研究
- 学会発表：国内54件,国外5件 (H16~23年度)
論文： 和文27件 (H16~23年度)

抑うつ状態と脳血流分布：
抑うつが強い者ほど、前頭葉の血流低下を認めるが、さらに、不眠、過労と関連する客観的指標としての部位と血流低下の定量的解析についても研究を進めている。



IT上に展開したMENTAL-ROSAI II
インターネット上でストレスについて判定しストレスへの対処方法を紹介するとともに、ストレス対処への「意欲・動機づけ」を促すプログラムとして開発



勤労者メンタルヘルスセンター(H23年度)

- 講習会 25,250人
- 職場訪問型職場復帰支援事業
従業員面談 休職中 83件 復職後 208件
- 休職に至らないメンタルヘルス不調者面談 46件
- 管理者・産業保健スタッフ面接 394件
- 職場訪問による啓発活動 151回

都道府県産業保健推進センター

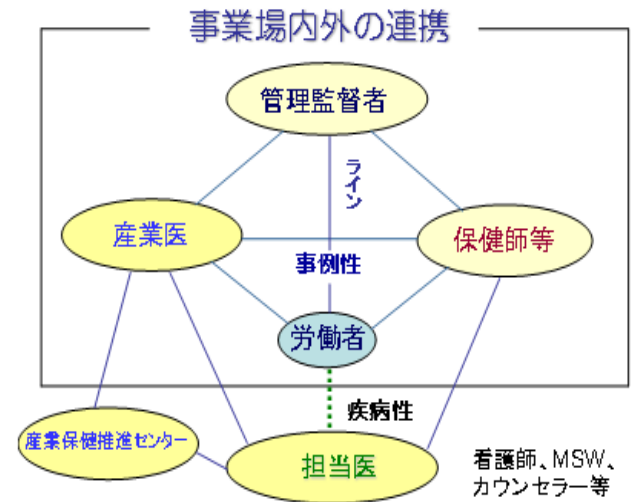
- メンタルヘルス研修
開催1,807回 受講者 65,591人(H23年度)
- 勤労者心の電話相談 29,209人(H23年度)
- 震災関連メンタルヘルス相談 2,409件(H23年度)
- 講演 971件(中央労働災害防止協会ほか,H16~23年度)
- 雑誌掲載 376件(H16~23年度)
- 書籍「ドクター山本のメール相談事例集」
「ココロブルーと脳ブルー」

国が設置した検討会等への参画

治療と職業生活の両立等の支援に関する検討会(参考人)

厚生労働省委託事業の実施

- メンタルヘルス対策支援センター事業
- 治療と職業生活の両立等の支援手法の開発
- ストレス症状を有する者に対する面接指導等に関する研修事業



メンタルヘルス不調に罹患した労働者に対する治療と職業生活の両立支援
小山文彦, 産業医学ジャーナル 33(6): 89-96, 2010

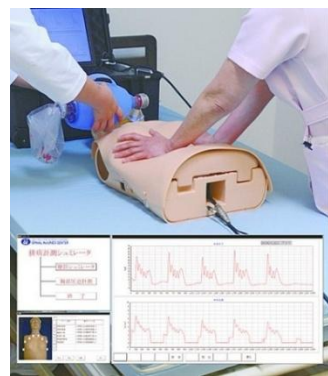
せき髄損傷急性期手術から職場復帰までのモデル医療

せき髄損傷の急性期から、復職・復学までを視野に入れた手術,リハビリテーションを効率的,効果的に実施することを通じて,手術手技,補助具や訓練機器,リハビリテーション手法等を開発している。

- ▶ 治療研究
 - 豊富な手術症例の上に成立する臨床研究
 - せき損患者へのbrain machine interface (BMI)の応用をめざした研究開発*
- ▶ 医用工学研究
 - より充実した生活の実現のための機器開発
 - ・脚上げ補助装置,座薬挿入器,腕振り歩行器,起立訓練ロボット,歩行支援ロボットなどの補助具
 - ・排痰介助訓練シミュレータなど訓練機器
 - 実用新案等23件, 商品化9件
- ▶ リハビリテーション手法開発
 - 多くの慢性期せき損患者と経験豊富なリハビリスタッフによってのみ可能となるconstraint induced movement therapy (CI)療法**によるせき髄可塑性の検証研究



歩行支援ロボット



排痰介助訓練シミュレータ

*せき損患者へのBMIの応用：
体内へ埋め込んだ刺激装置(心臓ペースメーカーに似ている)によって脳波を電気信号に変換して意思を末梢神経や筋肉へ伝える手法はこれまでは神経疾患等には適用され始めているが、せき髄損傷患者にはまだ試みられていない。

**せき損患者へのCI療法の応用：
麻痺した四肢の機能を強制的に使い続けることによって、損傷した神経細胞ではなく新たな神経回路が活性化されるという脳の可塑性を体現した治療法(CI療法)はこれまでは脳卒中には適用され始めているが、せき髄損傷患者にはまだ試みられていない。

自立支援

▶ピアサポート

労災病院で治療を受け、社会復帰し自立した患者との交流や講演会開催で

- ・山本浩之さん(北京・ロンドンパラリンピック車いす陸上)
- ・川野将太さん(ロンドンパラリンピック車いすテニス)
- ・洞ノ上浩太さん(ロンドンパラリンピック車いす陸上)
- ・島本崇武さん(『奇跡の男』を出版『タカシさんのリハビリ日記』配信)

▶職場復帰調整

職場復帰へ向けて、職場訪問による職場の環境整備と職場での作業にあわせたリハビリプログラムを作成

職場の環境整備

●職場訪問

リハビリスタッフ、本人、職場担当者による
職場復帰に向けた環境等の確認、相談



医師による職場
担当者への説明



バリアフリー
の確認



デスク周り
の環境整備

- ・実際の職務内容、安全性等の確認



職場復帰のためのリハビリ

- ・移動手段となる
自動車運転の訓練
- ・パソコン・キーボードの操作訓練
- ・座位での作業時間延長の練習
- ・職場での体温調整の工夫
- ・仕事中の排泄管理の習得 など



運転練習



コンピュータ
使用の訓練

➤疫学調査の実施

せき損患者の新規発生状況, 治療評価法等調査
専門医療機関ネットワークの構築

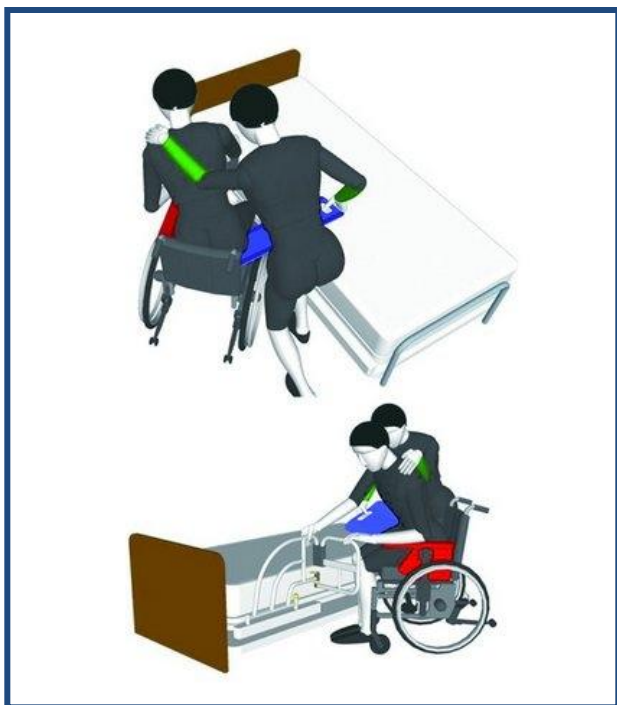
➤研修・普及

国内専門家対象セミナー開催実績(S54~H24.7)

- ・せき損セミナー34回 ・せき損看護8回
- ・リハビリテーション5回 ・医用工学セミナー3回

➤国際協力

外国人医師研修 14カ国 55名(H12~H24)



福祉用具イラストデータ集

住環境整備のための事前学習

【住宅内の改修ポイント】
見たい場所を選択してください。

- **ドアの開口** 住宅内におけるドアの種類や開閉方法などについて説明しています。
- **出入口** 住宅の出入りを行う場所や方法について説明しています。
- **居室** 居室における配慮事項や工夫について説明しています。
- **トイレ** トイレの使用方法や改修方法などについて説明しています。
- **浴室** 入浴方法や浴室の改修方法などについて説明しています。

[前のページに戻る](#)
© 2006 SPINAL
ページが表示されました

できるだけ介助者が体を
使わないようにしましょう。

住環境整備支援システム

労災病院治験ネットワーク

全国に分布した労災病院と治験本部事務局のネットワークにより、全国を代表する迅速で質の高いデータを提供できる。

治験ネットワーク推進事務局の役割

《治験依頼者に対して》

- 治験が実施できる労災病院の紹介
- 労災病院の診療科等の情報や治験受託状況等の提供が可能

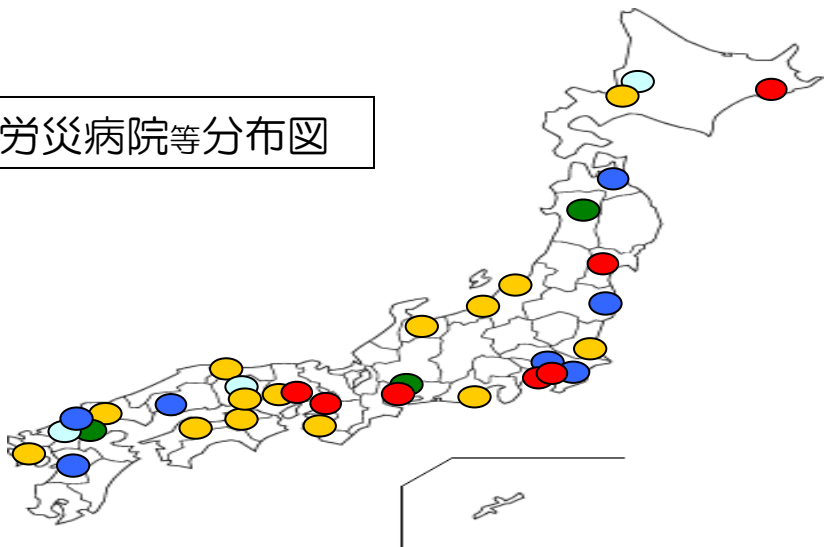
【取り扱う治験の種類】

- フェーズⅡ
- フェーズⅢ
- フェーズⅣ
(製造販売後臨床試験含む)

《労災病院に対して》

- 治験情報の集積・提供
- 治験進捗状況の把握・フォロー・指導
- 治験に係る教育・研修
- 治験関連通知の周知

労災病院等分布図



病院規模別内訳

●	500床以上	7施設
●	400床以上	7施設
●	300床以上	14施設
●	200床以上	3施設
●	150床以上	3施設

労災病院治験ネットワークの強化に向けた取組

治験本部事務局	治験事務局を本部に移し,体制を強化
広報活動	製薬メーカー等へ出向き,労災病院治験ネットワークの活動や 労災病院の診療機能を広報
国立病院機構との連携	国立病院機構と共同で製造販売後調査を開始 国立病院機構主催の治験研修等への参加

労災病院が実施している治験

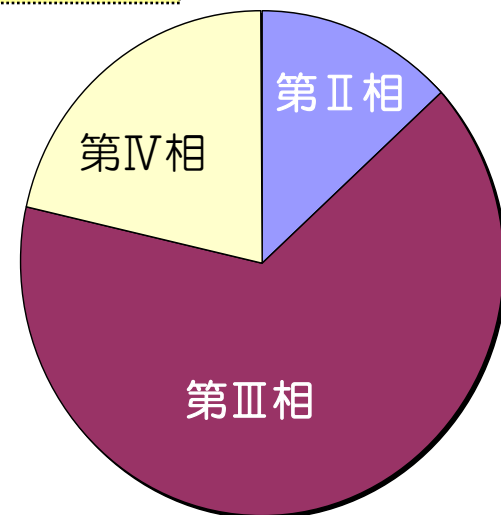
労災病院の特色を活かした治験を,強化したネットワークで提供できる。

対象実績例

- 人工膝関節全置換術後深部静脈血栓予防
- 進行性悪性胸膜中皮腫

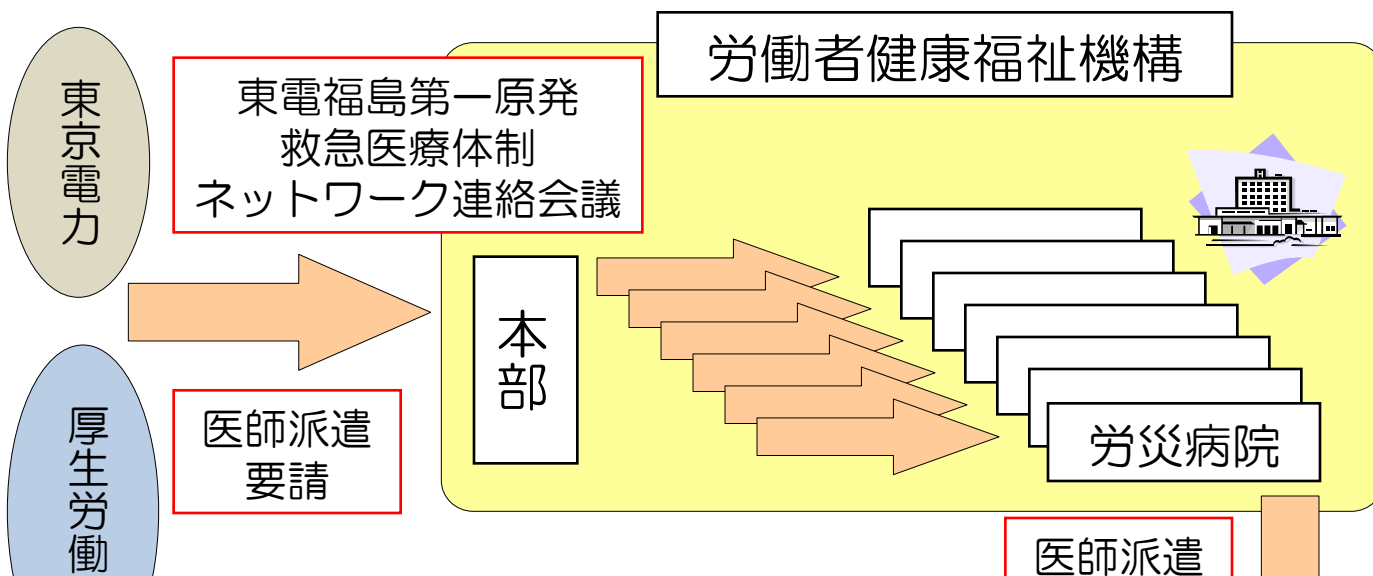
労災病院における治験実施実績(H23年度)

	合計	第Ⅱ相	第Ⅲ相	第Ⅳ相
治験件数	2,075件	66件	250件	1,759件
金額	1,009百万円	135百万円	658百万円	216百万円



東京電力福島第一原子力発電所への継続的医師派遣

東電福島第一原発で復旧作業にあっている労働者の健康管理のために労災病院グループとして東電福島第一原発救急医療体制ネットワーク連絡会議に参加し、労災病院から交代で現在まで継続して医師を派遣している。



東京電力より写真提供

免震重要棟

H23.5.29～8.30 :
30病院から
医師のべ46名を派遣

Jヴィレッジ

H23.9.5～現在まで派遣継続
H24.10.31までの間で30病院から医師のべ89名
10月～病院グループからの派遣は、労災病院のみ。
当機構以外は、東電病院と救急医学会から派遣。

労災補償行政への参画

労災病院医師はその専門性を発揮し、厚生労働省、都道府県労働局、労働基準監督署各レベルにおいて構成員として労災補償行政に参画している。

平成23年度

職名・検討会名（職務）等	労災病院 医師数	全体に 占める割合
労働基準法施行規則第35条専門委員会 (業務上疾病として新たに追加すべき疾病の有無に関する検討)	3名	21.4%
中央じん肺診査医	4名	30.8%
地方じん肺診査医	13名	12.0%
地方労災医員	86名	13.6%
労災協力医（平成21年度実績）	132名	22.7%
石綿による疾病の認定基準に関する検討会	2名	22.2%
意見書作成（平成21年度実績）	3,292通	6.3%

参 考 资 料

政策的医療の提供内容・実績とそのネットワーク病院の設置目的

労災病院グループのネットワークを通じて、労災疾病等職業に関わる疾病の臨床データ等の収集や研究を行い、医療技術・知見を開発・確立し、地域医療機関に対する予防・治療方法等の普及促進を図る。

労災病院グループ 30病院



臨床現場
(高度・専門的医療の提供)

② 労災疾病等研究
医療技術・知見
の開発・確立

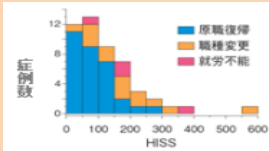
③ 研究成果を
フィードバック

(例)

アスベスト: 収集した症例から中皮腫臨床像を導き出し、鑑別診断法を確立し、適正な診断が可能となった。



四肢切断: 受傷時の重症度スコアを開発した結果、機能回復や職場復帰の予測を可能とした。これにより個人毎の治療計画の作成が可能となった。



① 労災病院の
ネットワークを通じて
職歴を含めた
症例データを収集
・蓄積

症例数22,177例

(H16~H20: 第1期研究)

入院患者の
職業歴等データ

279万件

(S59~H23)

(例)

アスベスト: 診断困難な中皮腫事案について症例を提供

四肢切断: プレス損傷等の手指切断における再接着が可能な症例を提供

依然として多く発生している
労働災害による疾病

職業性外傷
(燕ほか1病院)

せき髄損傷
(中部ほか3病院)

メンタルヘルス
(横浜ほか4病院)

物理的因子による疾患
(九州ほか2病院)

感覚器障害
(大阪)

脳・心臓疾患(過労死)
(東北ほか1病院)

産業中毒
(関西)

筋・骨格系疾患
(関東ほか2病院)

振動障害
(山陰ほか5病院)

働く女性のメディカル・ケア
(和歌山ほか4病院)

粉じん等による呼吸器疾患
(北海道中央ほか4病院)

アスベスト関連疾患
(岡山ほか9病院)

職場復帰のためのリハビリテーション及び勤労者の罹患率の高い疾病の治療と職業の両立支援 (九州ほか15病院)

13分野 19テーマ

研究発表
10,124件
(H16~H23)

症例検討会
5,982件
148,042人
(H17~H23)

研修会等
3,221件
(H16~H23)

普及

労災指定医療機関・産業医等

地方労災医員
86人

労災保険診療
費審査委員
33人

地方じん肺
診査医
13人

(H23年度実績)

行政

協力

労災認定に必要な意見書の
作成

28,137件
(H16~H23)

労災病院グループにおける労災疾病等研究

平成24年度

13分野名		19テーマ		主任研究病院	分担・共同研究病院
1	四肢切断,骨折等の職業性外傷	1	職業性の四肢の挫滅損傷及び外傷性切断に対する早期治療等に関する地域医療連携体制の構築に係る研究・開発,普及	燕	新潟
2	せき髄損傷	2	せき髄損傷の予防法と早期治療体系の確立に係る研究・開発,普及	中部	道央せき損,千葉,総合せき損
3	騒音,電磁波等による感覚器障害	3	職場環境等による急性視力障害の予防,治療法に係る研究・開発,普及	大阪	
4	高・低温,気圧,放射線等の物理的因子による疾患	4	職業性皮膚疾患の診断,治療,予防のためのデータベース構築に係る研究・開発,普及	九州	東北,門司
5	身体への過度の負担による筋・骨格系疾患	5	職場における腰痛の発症要因の解明に係る研究・開発,普及	関東	横浜,長崎
6	振動障害	6	振動障害の末梢循環障害,末梢神経障害等の客観的評価法に係る研究・開発,普及	山陰	北海道中央,釧路,愛媛,九州,熊本
7	化学物質の曝露による産業中毒	7	産業中毒の迅速かつ効率的な診断法に係る研究・開発,普及	関西	
8	粉じん等による呼吸器疾患	8	じん肺に合併した肺がんのモデル診断法に係る研究・開発,普及	北海道中央	富山,旭,神戸,岡山
		8	じん肺合併症の客観的評価法に係る研究・開発,普及		
		8	新たな粉じんにより発症するじん肺の診断・治療法に係る研究・開発,普及		
9	業務の過重負荷による脳・心臓疾患(過労死)	9	業務の過重負荷による脳・心臓疾患の発症要因に係る研究・開発,普及	東北	秋田
10	勤労者のメンタルヘルス	10	職場におけるメンタルヘルス不調予防に係る研究・開発,普及	横浜	鹿島,中部,岡山
		11	うつ病の客観的診断法に係る研究・開発,普及	香川	
11	働く女性のためのメディカル・ケア	12	働く女性の月経関連障害及び更年期障害のQWL (Quality of Working Life)に及ぼす影響に係る研究・開発,普及	和歌山	関東
		13	働く女性のストレスと疾病発症・増悪の関連性に係る研究・開発,普及		
		14	女性の深夜・長時間労働が内分泌環境に及ぼす影響に係る研究・開発,普及	愛媛	門司
		15	働く女性における介護ストレスに関する研究・開発,普及	中部	
12	職場復帰のためのリハビリテーション及び勤労者の罹患率の高い疾病の治療と職業の両立支援	16	早期職場復帰を可能とする各種疾患に対するリハビリテーションのモデル医療に係る研究・開発,普及	九州	青森,福島,中部,大阪,山口,中国,吉備リハ
		17	疾病の治療と職業生活の両立を図るモデル医療及び労働者個人の特性と就労形態や職場環境等との関係が疾病の発症や治療,予防に及ぼす影響等に係る分野横断的研究・開発,普及	中部(糖尿病)	横浜,大阪,和歌山,山口,熊本
		18		東京(がん)	千葉,関東,横浜,関西,大阪,岡山,中国
13	アスベスト関連疾患	19	中皮腫等のアスベスト関連疾患の救命率の向上を目指した早期診断・治療法及び予防法に係る研究・開発,普及	岡山	北海道中央,東北,千葉,東京,富山,浜松,旭,神戸,長崎

分野名	学会発表		論文発表		講演	雑誌掲載	主な論文
	国内	国外	和文	英文			
四肢切断,骨折等の職業性外傷	6	2	3	1	—	—	「Preventing postoperative congestion in reverse pedicle digital island flaps when reconstructing composite tissue defects in the fingertip: A patient series, Hand Surgery Vol.17, No.1, 2012」
せき髄損傷	71	21	11	16	26	4	「Complications of cervical pedicle screw fixation for nontraumatic lesions: a multicenter study of 84 patients., J Neurosurg Spine, 16(3):238-47, 2011」
騒音,電磁波等による感覚器障害	18	2	8	1	1	—	「Comparison of vitrectomy outcomes for eyes with proliferative vitreoretinopathy with and without prior vitrectomy, Nihon Ganka Gakkai Zasshi, 115(9)832-838, 2011」
高・低温,気圧,放射線等の物理的因子による疾患	2	—	3	—	2	5	「理・美容師の職業性皮膚炎に関するアンケート調査,皮膚病診療,33(10)996-1002,2011」
身体への過度の負担による筋・骨格系疾患	10	2	13	1	18	6	「心理社会的要因は,仕事に支障をきたす慢性腰痛への移行に強く影響しているか? 厚生 の指標,59(1)1-6,2012年」
振動障害	1	2	2	4	1	—	「Fundamental study of vibrotactile perception threshold on Japanese vibrotactile perception threshold using new measurement equipment, Canadian Acoustics / Acoustique canadienne, 39(2)64-5, 2011」
化学物質の曝露による産業中毒	8	3	2	2	7	19	「シックビル症候群患者の臨床所見並びに環境測定結果について,産業衛生学雑誌,53(2)25-31,2011年」
粉じん等による呼吸器疾患	6	2	9	1	36	2	「Annual change in pulmonary function and clinical phenotype in chronic obstructive pulmonary disease,Am J Respir Crit Care Med,185(1)44-52,2012」
業務の過重負荷による脳・心臓疾患(過労死)	19	6	10	1	10	4	「High-normal blood pressure is associated with microalbuminuria in the general population : the Watari study, Hypertens Research, 34, 1135-1140, 2011」
勤労者のメンタルヘルス	13	4	8	—	157	105	「労働者の「うつ病予備軍」早期発見のために-睡眠障害と前頭葉機能低下,抑うつ症状との相関-,日本職業・災害医学会会誌,59(1)32-9,2011」
働く女性のためのメディカル・ケア	9	1	2	—	11	8	「月経関連障害・更年期障害が働く女性のQuality of Working Life(QWL)に及ぼす影響に関する研究,産業医学ジャーナル,34(別冊)87-94, 2011」
職場復帰のためのリハビリテーション及び勤労者の罹患率の高い疾病の治療と職業の両立支援	6	—	7	1	9	4	「Functional and occupational characteristics associated with very early return to work after stroke in Japan, Arch Phys Med Rehabil, 92, 743-8, 2011」
アスベスト関連疾患	39	13	26	20	56	3	「Epigenetic silencing of microRNA-34b/c plays an important role in the pathogenesis of malignant pleural mesothelioma . Clin Cancer Res, 17(15)4965-74, 2011」

※労災疾病等13分野医学研究に限る。平成23年度実績。